

## 2018年1月映画興行部門興行成績速報

1月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

### 東宝グループ館総合計

**678スクリーン**                      **興行収入**                      **4,167,386,503 円**                      **(前年比 79.4%)**

### 1月主要稼働作品

『DESTINY 鎌倉ものがたり』『8年越しの花嫁 奇跡の実話』『キングスマン:ゴールデン・サークル』『スター・ウォーズ/最後のジェダイ』『映画 妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活』『嘘八百』『オリエント急行殺人事件』『劇場版 マジンガーZ/INFINITY』『嘘を愛する女』『パディントン2』『ジオストーム』『祈りの幕が下りる時』『未成年だけどコドモじゃない』『デトロイト』『映画 中二病でも恋がしたい! -Take On Me-』『ネイビーシールズ ナチスの金塊を奪還せよ!』『伊藤くん A to E』『CINEMA FIGHTERS/シネマファイターズ』『仮面ライダー平成ジェネレーションズ FINAL ビルド&エグゼイド with レジェンドライダー』 他

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社  
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上